

ダイワ新興アセアン中小型株ファンド-5つの芽-

リッパー・ファンド・アワード2020 「最優秀ファンド賞」受賞のお知らせ

2020年3月23日

最優秀ファンド賞

投資信託部門/株式型/アセアン 3年

ダイワ新興アセアン中小型株
ファンド-5つの芽-



REFINITIV LIPPER
FUND AWARDS

2020 WINNER
JAPAN

平素は、『ダイワ新興アセアン中小型株ファンド-5つの芽-』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、「リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード 2020 ジャパン」におきまして、当ファンドは、投資信託部門/株式型/アセアン 3年「最優秀ファンド賞」を受賞いたしました。

このレターでは、当ファンドの運用方針や、受賞に至るまでの運用の実績をご説明させていただきます。

お伝えしたいポイント

- ・ 逆風下でも、成長力のある銘柄の選別が有効だった3年
- ・ 「飛躍的な成長」を期待して新興アセアン中小型株に投資
- ・ 「成長」し続ける「強い企業」を発掘するポイント
- ・ 今後の見通し：困難な状況こそ「強い企業」が「成長」するマーケット

■ 基準価額/純資産総額の推移

当初設定日(2014年2月28日~2020年3月16日)



※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

逆風下でも、成長力のある銘柄の選別が有効だった3年

2017年から2019年までの運用状況について

2017年からの3年間は新興アセアン株式市場にとって乱高下する厳しいマーケット環境でした。

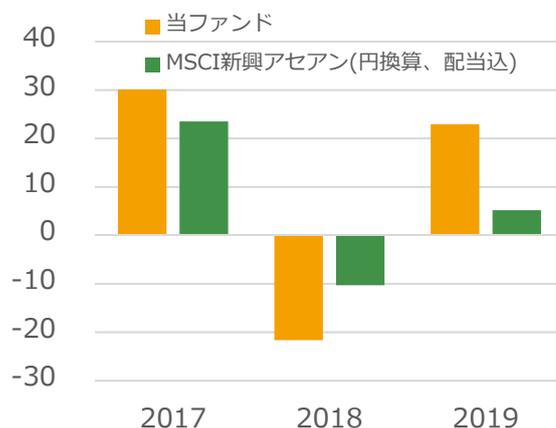
市場環境としては、2017年は米国の税制改革への期待から世界的に上昇相場が続きましたが、逆に2018年以降は米国の政策金利引き上げや米中関係の悪化により下落するなど、米国要因で動くことの多い環境でした。

この間、新興アセアン市場からは海外投資家の資金が流出傾向にありました。特に2018年以降の下落相場では、安全性の観点から大型株優位に推移し、中小型株投資にとって逆風が続きました。

当ファンドにおいても、2018年は苦戦しました。しかし、その間も根気よく取材・調査し、魅力的な銘柄を組み入れた結果、2019年には良好なパフォーマンスを上げることができました。

年間トータルリターン

(%) (2017年～2019年)



(出所) 大和投資信託, ブルームバーグ, MSCI Inc.

※MSCI インデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI 公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

「飛躍的な成長」を期待して新興アセアン中小型株に投資

国営企業よりも民間企業を中心に投資

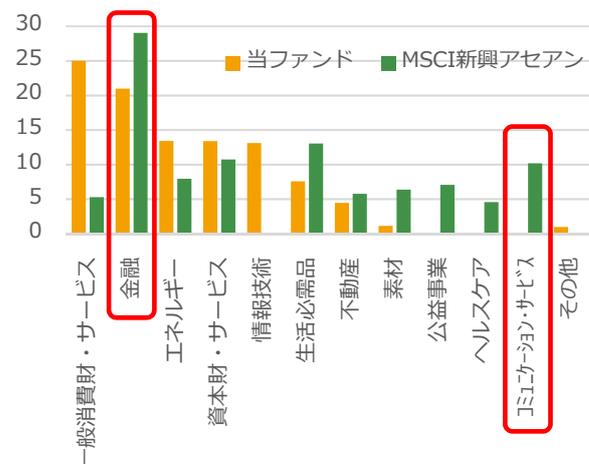
新興アセアンは今後成長の期待できる地域です。その地域で「飛躍的な成長」を期待して中小型株に投資するのが当ファンドです。

アセアンや新興国投資の多くのファンドは、参考とする代表的な指数の構成に合わせ、銀行株や通信株など国営企業のウエートが高くなっています。一方、当ファンドでは、国営の大企業よりも、飛躍的な成長が見込める民間企業を中心に組み入れています。

新興アセアン5カ国では4,000社を超える企業が上場しており、その多くが中小型株です。大型株と違い、利益・株価が数倍から数十倍になる成長を秘めた銘柄も多く、そのような企業の発掘を目指して運用しています。

業種別比率：民間企業主体のポートフォリオに

(%) (2020年2月28日時点)



(出所) 大和投資信託, MSCI Inc.

※現金等を除いた株式ポートフォリオに対する比率で表示しています。

※MSCI インデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI 公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

「成長」し続ける「強い企業」を発掘するポイント

先進国では「株式市場はおおむね効率的で株価はファンダメンタルズを反映する」と言われます。しかし、新興アセアン中小型株においては、短期志向の投資家の姿勢から長期の成長力を反映した株価形成がなされていないことが多くあります。我々は、そこに投資チャンスがあると考え、中長期の経営視点とキャッシュフローを重視した分析をすることで、長期的に成長する「強い企業」を見極め投資しています。長期的な成長を達成できる企業に必要な条件として、以下のポイントに着目しています。

「成長」し続ける「強い企業」発掘のチェックポイント

成長の持続性

- ・ 競争優位性
- ・ キャッシュフロー創出力
- ・ 投下資本利益率
- ・ 先進国における類似企業の成長パターン

経営力

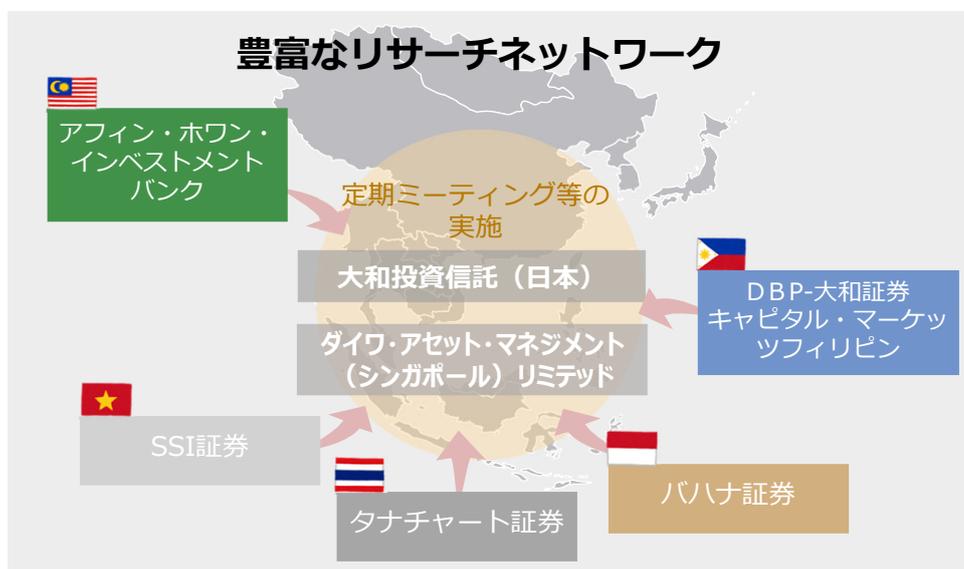
- ・ 経営陣の質
- ・ 高成長に導く経営手腕
- ・ トラックレコード
(経営の実績)

企業統治

- ・ 企業統治体制
- ・ 少数株主への配慮
- ・ 配当政策を中心とした株主還元策

上記の条件を満たす企業として、当ファンドでは、創業者一族が大株主として経営に携わっている民間企業を多く組み入れています。創業者の率いる企業は、強いリーダーシップの下、短期的な業績よりも長期的なビジョンをもって事業に臨む傾向があり、結果として成功するケースが多く見られます。一方、新興国では企業統治が先進国よりも緩い傾向にあるため、しっかりした企業統治体制のあることは投資先を選定する上で必須の条件です。

当社は、シンガポールを中心に自社の調査により年間600件程度の取材を行っており、高成長の期待できる銘柄を発掘しております。また、調査においては、新興アセアン5カ国それぞれの地元の証券会社の協力も得ています。このような豊富な個別株の調査体制がパフォーマンスの源泉になっています。



成長力のある企業への投資事例：ムアンタイ・キャピタル

強い企業が成長し続ける。ノンバンク業界の成長力と競争力に着目して、株価は3倍に

当社が最初取材した2015年当時、タイのノンバンク業界は未成熟で小規模事業者が乱立していました。そこに迅速な審査と丁寧な顧客サービスを打ち出し、借り手から安心、安全な企業として認知されたのがムアンタイ・キャピタルでした。2016年に投資を開始し、その後株価は大きく上昇しました。

投資決定に至るチェックポイント

1. 成長の持続性

- ・ 先進国の類似パターンと比較し業界普及率が低いこと
- ・ 即日審査のノウハウに競争力があること

2. 経営力

- ・ 強力な経営陣のリーダーシップ
- ・ 規律ある店舗運営や徹底的な顧客へのアフターサービス

3. 企業統治

- ・ 透明性の高い情報開示などが取材を通して確認できた

ポイント①：強力なリーダーシップ

当時、創業者兼CEO（最高経営責任者）のチューチャート氏が打ち出したのが「店舗倍増によるローン残高の拡大」及び「不良債権の抑制」の二兎を追う野心的な目標でした。多くの市場参加者が計画達成に懐疑的でしたが、我々は創業者兼CEOと初めて面談した時に、強いリーダーシップと同社の大きな成長ポテンシャルを感じ、取材を継続することにしました。

ポイント②：競争力と規律のある店舗運営

我々は先進国での類似企業の成長パターンから、ノンバンク業界は信頼関係によって成り立つ業界で、規律ある店舗運営と顧客へのアフターサービスが重要だと、認識していました。

そして、会社や競合他社店舗への現地取材などを重ねた結果、同社にその「強み」があることを確認し、目標は達成可能と判断しました。投資を開始した2016年以降、同社はタイを代表するノンバンクに成長しました。

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

ムアンタイ・キャピタル株価推移

タイ・パーツ (2015年12月31日～2020年3月13日)



(出所) ブルームバーグ

ムアンタイ・キャピタル

タイ全国で4,000超の営業所を展開し、二輪車や四輪車を担保にしたローンを提供するノンバンク大手。現経営者である創業者夫妻が株式の2/3超を保有するオーナー経営企業。

今後の見通し：困難な状況こそ「強い企業」が「成長」するマーケット

新型コロナウイルスの感染拡大については世界的なリスク要因であり、まだ収束への道筋がはっきりしていない状況であるため、しばらく忍耐の必要な相場環境が続くと考えています。

一方で、新興アセアン市場は長期的に見れば、魅力的な市場です。ここ5年程度は米国に劣っていますが、その前の15年ではトップクラスのパフォーマンスを上げています。いずれ見直される局面があると信じています。

また、当ファンドの運用に関しては、「製造拠点の中国以外への分散化の流れ」と「強い企業が成長し続ける」という2点において、追い風になると考えています。

製造拠点の中国以外への分散化の流れ

中国が2001年にWTO（世界貿易機関）に加盟してから、世界の製造業は中国に生産拠点を移し、過度に中国に依存するようになりました。今回の新型コロナウイルスの蔓延は、世界的企業に中国への集中リスクを再認識させています。株式投資と同じように実際のビジネスにおいても、「分散」が必要です。アセアン地域への製造拠点の分散の流れは、進展することはあっても、後退することはないと考えています。

「強い企業が成長し続ける」の理論

困難な状況にあるからこそ、強靱な事業基盤と健全な財務体質を持つ企業が勝ち残って、シェアを伸ばしていく、と考えています。では、現在の環境下で強い企業とはどのような企業なのでしょうか？

創業者一族が株主として経営に携わっている企業が、現在ポートフォリオの大きな比率を占めていると前述しました。我々はこのような企業こそ、力を発揮できると考えています。

創業者にとって会社は自分の資産でもあります。しっかり規律のある経営をおこなっている経営者であれば、無謀な借金や投資は行いません。そのため、このような環境下でも耐えることができ、今後、逆に事業拡大のチャンスが訪れれば、攻めに転じることが出来るのです。

いずれ新型コロナウイルスが収束し、攻めのタイミングを迎えた時、我々のまいた種が花を咲かすと信じています。目先の業績悪化や株価の変動に惑わされることなく、長期的に高い利益成長の期待できる強い企業を中心に投資を行いたいと考えています。

引き続き、当ファンドをご愛顧くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

主要国の長期株価指数比較（円換算、配当込）

（1999年12月30日～2020年3月13日）



（出所）ブルームバーグ、MSCI Inc.

※MSCI インデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
※1999年12月30日を100として指数化しています。

「リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード」について

世界の20カ国以上で30年余りにわたり、高く評価されているRefinitiv Lipper Fund Awardsは、独自の投資信託評価システム「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。評価方法の詳細につきましては、lipperfundawards.comをご覧ください。

評価方法について

評価対象基準（すべて満たすもの）

- 評価年の12月末時点で、該当国で販売登録されているファンドを評価対象と致します。
- 評価年の12月末時点で、36ヶ月以上の運用実績があるファンドが評価対象と致します。
- 評価翌年の4月1日以降に償還を迎えるファンドを評価対象と致します。
- リッパー・グローバル分類を用い、代表的なシェアクラスのファンドを基準に、10本以上（確定拠出年金部門は5本以上）のファンドが存在する分類を評価対象と致します（それ以外の分類、機関投資家向けファンドやその他の非リターン・ファンド、プライベート・ファンド、クローズド・エンド型ファンド、ETF（上場投資信託）、保険ファンド、指数連動型ファンドを除く）。
- 資産クラス別では、不動産型を除く、株式型、債券型、ミックスアセット型、コモディティ型、オルタナティブ型、絶対収益型ファンド型の、各資産クラスを投資対象とするファンドを評価対象と致します。
- 確定拠出年金部門の対象ファンドは、確定拠出年金専用ファンドと致します。

最優秀ファンド評価方法 * 確定拠出年金部門の評価方法も同一基準を採用

本アワードの対象となる、算出における通貨は、月次データにおいて使用する国の通貨に基づきます。分類別の平均スコアは、分類ごとに、評価対象となるすべてのシェアクラスから算出します。評価期間は3年間、5年間、10年間とし、Lipper独自の投資信託評価システム「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」で採用している「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」に基づき、各分類・各期間（3年、5年、10年）で最優秀ファンドを選定致します。Lipper Leaders（リッパー・リーダーズ）の評価方法の詳細につきましては、ウェブサイト [methodology document](http://methodology.document) をご参照ください。

リフィニティブ・リッパーについて

リフィニティブ・リッパーは、総合投資情報、投資信託、退職年金基金、ヘッジファンド、及び手数料とコストに関する独立した洞察を、資産管理会社、ファイナンシャル・アドバイザーと機関投資家の皆様に提供しています。高品質なデータ、投信評価情報、分析ツール、及びコメタリーを通じ、投資信託市場参加者の皆様から、40年以上にわたる信用を受け、リッパーは他に類のない専門知識と洞察を投資信託業界に提供しています。

免責事項

「リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード」は毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。」

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 新興アセアン諸国の中小型株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- 新興アセアン諸国の中小型株式に投資します。
 - 当ファンドにおける新興アセアン諸国とは、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピンおよびベトナムの5カ国をいいます。
 - 当ファンドにおける中小型株式とは、以下の基準を満たした銘柄をいいます。

中小型株式の基準

下記①、②のうち、取得時において、マレーシア、タイ、インドネシアおよびフィリピンのMSCI大型株インデックス構成銘柄の企業が発行する株式を除いた銘柄を中小型株式とします。

- ①新興アセアン諸国の金融商品取引所に上場等されている株式
- ②新興アセアン諸国以外の金融商品取引所に上場等されている当該諸国企業の株式

※「株式」には、DR（預託証券）を含みます。

※「上場等」とは、上場、店頭登録、上場予定または店頭登録予定をいいます。

■上記の基準は、2019年8月時点のものであり、将来変更となる場合があります。

MSCIマレーシア大型株インデックス、MSCIタイ大型株インデックス、MSCIインドネシア大型株インデックスおよびMSCIフィリピン大型株インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「中小型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.815% (税抜 1.65%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※投資対象国によっては、ファンドが株式への投資によって得た配当金に対して課税される場合があります。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更します。

ダイワ新興アセアン中小型株ファンド-5つの芽- 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。